

県内経済の動き

概況

〔2026年3月～2026年5月の動き〕

緩やかに回復している

鉱工業生産指数（3月）は2カ月連続の前月比低下、通関輸出額（4月 細島港）は2カ月連続で前年同月比増加した。小売店販売額（4月）は4カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（5月）は2カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（4月）は7カ月ぶりに前年同月比増加し、公共工事（5月 保証対象請負総額）は5カ月ぶりに前年同月比減少した。有効求人倍率（4月）は前月比+0.04ポイントの1.18倍で、5月の企業倒産は前月比2件増の4件、負債総額は同8億19百万円増の10億21百万円となった。

一部に弱めの動きがみられるものの、県内景気は緩やかな回復が続いている。中東情勢や物価動向の影響について引き続き注視していく必要がある。